



Kanigram



KANIYEG2017



いいね! **68**件

平成29年度 可児商工会議所青年部

燃えるいのち

No.24



可児商工会議所青年部会長

亀谷 孝太

有限会社 亀谷電気商会

「気づき」の大切さ

平成29年度は「Bonds!」気づき、繋がり、絆へ」をスローガンに掲げました。Bondsは「きっかけ」を意味します。普段私たちは社業や家族、そして青年部活動など自身にとって大切な物事が数多くある中で、忙しさを理由にどうしても足早に日々を過ごしてしまいがちです。

私たちが変わりたいという想いを胸に抱き、丁寧に視野を広げていけば、大空へ羽ばたいていくチャンスがこの青年部にはある。ほんの小さな変化を、少しずつでもいいからずつと重ねていくことで、私たち可児商工会議所青年部は次代へ向けて突き進んでいける。一人ひとりが一歩踏み出しさえすれば、それは大きな成長に繋がると信じて。そんな思いをスローガンに込めて、1年間活動してまいりました。

平成29年度日本商工会議所青年部 第37回全国大会岐阜かかみがはら大会を、私たちが所属する岐阜県商工会議所青年部連合会が主管し、達成することができました。大会を運営する各セクションを、所属する単会それぞれが担当するなかで、私たちは懇親会を担当する懇親部会と、県内各地で開催された分科会のひとつ、可児分科会を担当しました。また、多くの仲間がこの大会へ参加することで、この地域の素晴らしさを広く知っていただき、そして各地で繋がった人と人とが再会を果たし、より交流を深めたいという想いから、この大会のPRを行うキャラバンで全国各地を回りました。

誰も挑んだことのない規模の事業を進めるにあたり、単会の枠を超え県連が一体となって組織を構成し、連携を取り合って全力で取り組みました。連合会の絆がより一層強まったと感じていますし、この絆が私たち青年部の成長に繋がっていくことでしょう。

一方、単会内においては組織や事業の見直しに注力しました。会長の補佐的役割を行う専務理事を設置し、関係各所との連絡役や資料の取り纏めなど、円滑に活動を行えるよう従事していた。

きました。また、部員拡大を今年度の最重要課題と捉え、部員拡大委員会を設置しました。20人という目標人数を掲げ、委員主導のもと部員増加に努めました。また、加入した部員を仲間がサポートすることで、入部したものの埋もれてしまい参加しづらくなるような部員を作らない体制づくりを行いました。部員の皆さんがそれぞれ一歩踏み出していただいたお陰で、例会などスケジュールの返答率、参加率が増加傾向にあります。

事業では毎年制作しているハンドブックの見直しを行いました。当初は冊子だったハンドブックをここ数年はペーパーレスでデータ配信をしておりましたが、担当委員会で検討いただいた結果、私たちが心のよりどころとするハンドブックは、やはり手元にあつた方が利用しやすいのではと、再度冊子にて制作し、配布する形となりました。結果部員の多くが会議や例会にも持参し、手に取って閲覧する姿が見られ、大変うれしく思いました。このように、既成概念にとらわれないこと、目的に対して私たちの活動が正しい方向を向いているのか、常に検証することが大切です。

冒頭にきっかけのお話をしましたが、私自身が大変慌ただしい一年となりました。私は会長ですから、全ての責任は私にあります。しかし、私一人で行える事は本当に僅かで、部員の皆さんに助けていただかなければどの活動も行うことはできませんでした。会議に出席いただいたこと、事業の準備をいただいたこと、例会に参加していただいたこと、どれも「ありがとうございます」この言葉に尽きます。平成29年度はこれで終わりますが、私たちの青年部活動はこれからもずつと続いていきます。継続をしっかりと意識して、仲間と共に活動できることに感謝しながら、また新たな一歩を踏み出して挑戦し続けてほしいと願っています。

結びに、会頭をはじめとする商工会議所の皆様、会議所会員の皆様、事務局員の皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございます。今後も青年部活動へのご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。一年間ありがとうございました。

平成29年度 可児商工会議所青年部 役員紹介

会 長	亀谷 孝太
直前会長	安江 健一郎
副 会 長	長谷川 啓仁
副 会 長	曾 我 伸仁
副 会 長	菱 川 暢之
副 会 長	古 田 智裕

監 事	松 田 浩一
監 事	溝 口 広明
専 務 理 事	畑 佐 卓
総務委員長	貞 本 尚洋
部員拡大委員長	菱 川 暢之
広報委員長	西 村 賀彦

東海ブロック理事 県連副会長	安江 健一郎
県連出向理事	亀谷 孝太
全国大会岐阜かかみがはら大会実行委員会懇親部会長	澤野 泰輔



可児市長
富田 成輝

「燃えるいのち」 第24号発刊を祝して

「燃えるいのち」第24号が発刊されます。心からお祝いを申し上げます。

可児商工会議所青年部の皆様には、日頃より、本市の商工業の活性化のみならず、市政各般にわたり格別なるご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。また、自らのお仕事をしながら地域貢献に積極的に取り組まれ、夏の風物詩として定着いたしました「可児夏まつり」の企画・運営など、日々各種活動を展開されますその行動力に対して深く敬意を表すものであります。

さて、本市では「住みこち一番・可児」の実現を目指し、若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちを創造することを目標に、『高齢者の安心づくり』『子育て世代の安心づくり』『地域・経済の元気づくり』『まちの安全づくり』の4つを重点方針として掲げ市政運営に取り組んでいます。

『地域・経済の元気づくり』においては、平成28年度より、働き方の見直しやワーク・ライフ・バランスについて積極的に取り組む企業を応援する「わくわくworkプロジェクト

ト」や就職を希望する高校生と地元企業のマッチング事業により企業の人材確保を支援しているほか、平成29年度には中小企業や小規模事業者、創業希望者が事業について気軽に相談できる窓口として「可児ビジネスカフェ」を開設しました。また、美濃金山城が「ひがしみの山城」として「岐阜の宝もの」に認定される

など、観光振興の柱として進めてきた戦国城跡巡り、美濃桃山陶の聖地、木曾川左岸など東美濃と深く関わりがある3事業を「東美濃の国創り」と題して啓発活動を開始しました。

今後更に『地域・経済の元気づくり』を進めていくには、貴青年部の皆様の参画と協働が必要です。貴青年部には、本年2月に岐阜県で開催された日本商工会議所青年部の第37回全国大会岐阜かかみがはら大会で可児分科会を主催され、全国の同胞に可児市の産業や観光、文化、歴史をPRし『地域・経済の元気づくり』に多大な貢献をしていただきました。今後も、商工業の更なる発展に取り組んでいただき、交流と研鑽を通じて次代への先導者として一層飛躍されますよう期待申し上げます。

最後になりましたが、貴青年部の益々のご発展と部員皆様方のご健勝をお祈りし、お祝いの言葉といたします。



可児商工会議所会頭
渡辺 敏夫

機関誌発刊に寄せて

この度「燃えるいのち」第24号が発刊されますことに対し、心よりお祝い申し上げます。

青年部の皆様には、日頃より商工会議所の活動並びに、地域振興活動に対し、多大なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年の日本経済を見てみると、衆議院の解散など多くの出来事があったものの、約5年前から続くアベノミクスが起点となり、日経平均株価は上昇し、一時バブル崩壊後最高値を超えました。企業収益の拡大や雇用環境の改善等も持ち直しの動きを示しており、海外の政治状況等の影響を受けつつも、おおむね緩やかな回復基調が続いています。その一方で、労働力人口減少により、中小企業の人手不足は深刻化しています。また、経営者の高齢化が進展していることから、創業に加え、早急かつ円滑な事業承継を進めていかなければ、高齢を起因とした廃業の増加により、雇用の受け皿の喪失、地域経済の衰退を招きかねません。

現在、中小企業の最大の課題である人手不足への対応については、女性や高齢者といった多様な人材の活躍推進につなげるとともに、就業環境を改善し、労働者の意欲を高める「働き方改革」、およびIT技術やロボット等の導入・活用を通じた「生産性向上」が有力な解決策となります。

また、人口減少社会にあつて地方創生も重要な課題です。人口減少により地域内の消費は縮小傾向が続く中、いかに県外の需要を取り込みつつ、地域内での経済の好循環を生み出すかがポイントです。そのためには、観光振興が有効であると考えます。ただし、こうした取り組みは、1つの商工会議所だけで成し遂げる

ことは困難です。地域内の行政、団体や商工会議所間の連携を積極的に進めていく必要があります。そこで昨年は、東濃6市商工会議所で「ツーリズム東美濃協議会」を発足しました。今後「東美濃」ご当地ナバー導入を推進しながら、各地の観光資源と地場産業や歴史、文化などを結び付け魅力を国内外に発信していきます。

この可児市でも、市内企業の皆様方におかれましては、労働力人口の減少による人手不足等の課題があると思われまます。そこで商工会議所では一昨年「中期ビジョン」を立案し、市内経済の発展、市内産業の特徴や会員企業の状況及び、「可児市総合戦略」の方針なども考慮して、商工会議所の果たすべき「役割」を明確にするとともに、指針となる「理念」を掲げ、「地域経済力、まちの魅力、組織の魅力」の3UPを「基本方針」として定めまました。

昨年は、当ビジョンの実現を目指し会員事業所表彰等の新たな事業を行いました。今後も中小企業にとつて大きな課題である、労働力不足の解消や、社内人材の活躍推進等、課題解決につながる取り組みを思索し実施していきたいと考えております。

また、これまでの事業を含め、継続すべきこと、新たに取り組むべきことを皆様方からご意見をいただきながら事業活動を進め、魅力ある商工会議所を目指して精一杯頑張る所存であります。

今年度は、日本商工会議所青年部第37回全国大会岐阜かかみがはら大会が開催され、全国より6,000名の青年経済人が岐阜に集い、また当青年部が主管で行った分科会にも多くの方に来場いただき、可児市の魅力を発信していただきました。今後も多方面での活躍をご期待しております。

最後になりましたが、青年部の皆様のご健勝と、青年部の益々のご発展を祈念申し上げます。



総務委員長

貞本 尚洋

株式会社 ニッコロ

可児YEGの 下支えとして

まずは、本年度の総務委員会が企画・立案しました事業にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。当委員会が担当した事業において、不便を感じることやご迷惑をおかけしたかもしれません、この役を拝命してから、皆さまからの付託に応えるよう1年間取り組んでまいりました。

4月の通常総会は、小萱チエリークリックカントリークラブで開催させて頂きました。平成29年度の年頭事業ということで市長をはじめ、多方面からの来賓をお招きし、亀谷会長の活動指針を示す場を提供することができました。慣れない事ばかりでしたが、執行部経験者から意見をいただきながら、なんとか無事に総会を開催することができました。

11月には、次年度役員の承認をとる必要があるため、可児市総合会館にて、臨時総会を担当させて頂きました。全役員に電話連絡とA.Tを駆使し、委任状及び議決権行使を含め、100%の回答を得るに至りました。臨時総会は、

滞りなく進行し無事に終了いたしました。12月は、本年度の青年部活動を振り返る機会と親睦を図る目的で、湯の華アイランドにおきまして、忘年会を企画させて頂きました。忘年会の内容の中で、次年度の大役を担われる役員に向けた『壮行会』を組み込ませて頂きました。サブライズあり、気を引き締める場面もあり、少々詰め込みすぎたしまった忘年会ではありましたが、有意義な時間を過ごしていただけたのではないかと思います。

3月は、本年度の締めくくりとして、美濃旬膳おりべ亭にて、『卒業生を送る会』を企画させて頂きました。3名の卒業生を無事送り出すことができました。いずれの事業も委員会メンバーの協力なしには達成できなかったです。協力していただきましてありがとうございます。

結びとなりますが、この1年間大変な場面も沢山ありましたが、この経験を活かして、自身の成長、事業所の発展に結びつくこととともに、機会を与えて頂きました方々に深く感謝を申し上げます。活動報告と代えさせていただきます。

1年間、ありがとうございました。

総務委員会





広報委員長

西村 賀彦

西村賀彦税理士事務所

青年部の価値

青年部に入って1年足らずで、委員長という役を仰せつかりましたが、最初はわからないことも多く、自身の仕事の忙しい時期と重なった時には、「なぜ、受けてしまったんだろう」と思ったこともありました。

しかし、ある事業を経験してから、青年部に対する意識が変わりました。その事業とは、次年度の県連会長になる予定の亀谷君と県連専務理事になる予定の山口君を高山まで応援に行った事業です。事業としては、ただみんなで行って、式典に参加をして帰ってくるというだけなのかもしれませんが、でも、限られた予算の中で、どうやったらたくさんの人を巻き込むことができるのか、次年度、可児を代表して県連の役員にチャレンジしようとする仲間はどうやったら「応援したい気持ち」が届くのかと考えた時、これが「青年部活動」なんだと思いました。自分がやりたいから、成し遂げたいから、その意義や気持ちを伝えようとすると、なんだと気付きました。その気持ちで

取り組んだ結果、目標人数には少し及びませんでした。皆さんの仲間と高山に行くことができ、そして、自分では到底できないようなことをいとも簡単にやってしまう仲間の存在を知ることができました。僕にとって、青年部の価値を実感した忘れられない事業となりました。

他にも、青年部活動で必要なことをすぐ確認できるようにするため、ハンドブックを紙媒体とA T配信の併用したり、広報として青年部をPRしていく上で「青年部の価値は何か？」を学ぶ講師例会を企画しました。

次年度は、今年度の講師例会で学んだこと等を活かし、ホームページでどのようなことを発信して行くかなど、広報としての活動を再確認し、青年部の価値を伝えていけるものにしていきたいと思えます。

最後に、常に手探りで、経験もなく、至らない点の多い委員長でしたが、各事業にご参加いただきました皆様、役員の皆様、広報委員会の皆様、事務局の皆様、そして、アドバイス・ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

広報委員会





部員拡大委員長 兼 副会長

菱川 暢之

有限会社 菱川農場

一年を振り返って

平成29年度が始まった時、青年部員はついに50名を切った人数でスタートしました。毎年減り続けていく部員数を見て今年、部員拡大委員会を会長の想いのもと立ち上げました。

年度が始まってすぐに部員間の交流、そしてスローガンの中にある絆を深めようと、5月に自然の中での部員交流会を企画しました。もちろんただ自然を満喫するのではなく、いまの可児市の状況や青年部の状況、過去の青年部は・・・といった事をクイズ方式で出題をして、可児市や青年部の状況を振り返り、考える例会を行いました。この例会を通して部員の人数が過去最大だったところに比べて三分の一に減ってしまっていることに気付いてもらえたと思います。そして、部員を増やすにはどうしたら良いかを各自が考えるきっかけになったと思います。

青年部がどんなことを活動している

か、またどのような組織なのかを参加されてない方に口頭で説明するのはなかなか難しいことだと思います。そこで口頭ではなく、実際に青年部活動体験してもらおうと9月に参加者を募って例会に参加してもらいました。

題材はやはり青年部活動の大半を占める夏まつりについてです。参加してもらえた方の中にはすぐに青年部に入っていただけの方もいました。

青年部での活動はすぐに自社業に反映する物ばかりではありません。しかし同じ組織の中において同じ活動をともししていくと、何かしら必ず自分に返ってくるものがあります。自社業に活かせる何かを手にもすることも、活動を通じて出来るのかもしれない。

いまままだ青年部を知らない若手事業者が可児には眠っています。是非誘って青年部を盛り上げる様に部員全員で頑張っていきましょう。

部員拡大委員会





飲食部会準備委員会担当副会長

古田 智裕

ベーカリーたつや

可児YEG 飲食店メンバー！

今年度、会長の意向で飲食部会準備委員会を立ち上げました。青年部員のメンバーには多くの飲食店のメンバーが入っていますが、仕事の時間の関係でなかなか青年部活動への参加が出来ませんでしたが、それではせっかく青年部に加入しても勿体ない・加入している意味がない、そんな思いから平成30年度に飲食関係のメンバーが活躍の出来る例会を行う為の準備期間として活動をしました。

他の委員会のように例会は行いませんでしたが、可児夏まつりの日曜日に行っているデイイベントの一つ、飲食に係るイベントを任せられました。イベントの企画から準備・運営を飲食部員で行いました。実現が出来た案、出来なかつた案を含め多くのアイデアが生まれました。そして、当日は普段、なかなか参加が出来なかつた部員も今回は参加することが出来ました。

また、アンケートを行いそれぞれの意見や考えを聞きました。普段、聞けない事や知ってほしい事などが聞けました。

可児夏まつりのイベントを行えたように、平成30年度は飲食関係のメンバーが率先して例会活動の企画・運営に参加出来ると感じました。次年度の委員会には今年度の意見と経験を参考にしてもらい、飲食メンバーと一緒に多くのメンバーが活動・活躍の出来る例会を行いたいです。

飲食部会準備委員会





可児夏まつり2017 実行委員長
安江 健一郎
 有限会社 安江電気工事

可児夏まつりを終えて

8月12日(土)、13日(日)に開催した「可児夏まつり2017」は延べ3万人の市民の皆様にお越しいただいた一大事業となりました。今年はお祭りFest・No Lie!〜夏まつりのない人生なんて〜」をスローガンに来場者はもちろん運営側である我々も「夏まつりのない青年部なんて考えられない!」と楽しみながら作り上げていこうと取り組んでいきました。

12日のオープニングでは地域で活躍するタヒチアンダンスチームと青年部ダンスによるダンスコラボで幕を開け、初日のメインイベント噴上げ花火で一気に会場のボルテージが上がりが皆の熱気で熱い夜となりました。

13日は朝よりイベントへたくさん家族連れの皆さんに来場いただき、魚つかみ、とんかち広場、チャンバラ合戦イクサをはじめ今回新たに食のイベントとしてバーベキュー魚焼き体験、全国ご当地アイスで舌鼓を打つ

ていただきました。また、地元の働く車展示会を実施し、普段触れることのできない働く車を身近に見て触れていただくことができ、子供たちの思い出作りに一役買っていただきました。夕方からは20チーム以上からなる地元ダンスチームによるダンスの披露で夏まつりに華を添えていただきました。両日とも天候にも恵まれ、最後の盆踊り、総踊りではアンコールが沸き起こるほどの盛り上がりを見せました。

今年を当日を迎えるまで紆余曲折、準備不足などを露呈した場面が多々ありましたがそうした中、また限りある時間の中で一緒に走り抜けてくれた実行委員会の皆さん、特に経験の浅いメンバーも懸命にハードルを越えていってくれました。さらに商工会議所会員の皆様、事務局の皆様、市役所、警察署、消防署、自衛隊、消防団、地元自治会、ボランティアの皆様、ご協賛・ご協力いただきました企業の皆様、

そして私のわがままを全力で実現してくれた商工会議所青年部の皆さん、ご協力の力が欠けてもこの夏まつりは実現できませんでした。あらためて実行委員会を代表して感謝申し上げます。二日間通してどんどん大きくなる踊りの輪に市民の皆さんのパワーを感じつつ、この夏まつりがここ可児市の夏の風物詩として定着していることを嬉しく、そしてこの素晴らしいステージでたくさん仲間と躍動できたことを誇りに思います。可児夏まつりのない可児市なんて考えられません! 本当にありがとうございました。



可児夏まつり 2017 実行委員

- | | |
|------------------|--------|
| 実行委員長 | 安江 健一郎 |
| 副実行委員長 | 亀谷 孝太 |
| 総務委員長 | 曾我 伸仁 |
| 財務委員長 | 星野 誠 |
| 花火委員長 | 谷村三四郎 |
| 食委員長 | 古田 智裕 |
| 会場環境委員長 | 平山 憲文 |
| イベント委員長 | 小池 康仁 |
| 広報委員長 | 佐橋 徹栄 |
| 渉外委員長 | 五十川将史 |
| 踊り委員長 | 大口 剛弘 |
| 監事 | 松田 浩一 |
| イベントボランティア
統括 | 溝口 広明 |





夏まつり
委員長
インタビュー

ここが委員長の

見せ場!!

財務委員長

星野 誠



可児夏まつり実行委員会および財務委員長として深く関われる機会をいただき有難うございました。

2017では2016の引継ぎ事項である『支部ごとの割振り』の改善に努めました。

各支部協賛件数の平均化と他支部協賛店を少々含める事を行いました。これは同じ部員が同じ協賛店を回る事を少なくして、別地区へ伺えば新しい繋がりが生まれるのではと企んでの事です。

実行委員会では、『他支部協賛店が入っている』という有難い意見を頂きました。

銀行振込については、それぞれの協賛店の考え方があるので難しいところではありますが2018実行委員会に期待したいと思います。

自分は感覚で話すタイプですので、会議では伝わり難かったのかもしれませんが。

それでも皆様から後押ししていただいた事感謝しております。

総務委員長

曾我 伸仁



可児夏まつり2017の総務委員長を仰せつかりました、曾我伸仁です。

委員長のここが一番の見せ所！と言うことで見せ場！と言えば、2日のタイムスケジュール管理や、イベント進行状況、会場運営状況、渉外把握と全体の管理や進行状況など、

全ての管理運営ができるところでしょうか。

状況判断など、緊迫感ハンパないですが実行委員長の2番目に決定権を持てる所ですね。ですが、何かあると総務に訪ねられるので、本当に優柔不断は禁物です。結構しかられましたが・・・。

しかし、とてもやりがいのある委員長でした。全委員会を補佐し、実行委員長と連携しながら、最後まで携われるので、自分にとってもプラスになる経験をさせていただきました。各委員長にも恵まれ、23年間で一番記憶に残るものになりました。

夏まつり、委員長やるなら総務ですよ！

本当に良き委員長達と、メンバーに恵まれました！本当に有り難うございました！

広報委員長

佐橋 徹栄



可児夏まつり2017の広報委員長として楽しみにしていただいている皆様に周知していくことの必要性、アナウンスが非常に大切なことだと実感しました。

夏まつり当日においては沢山の方向に来場していただき笑顔あふれる記録写真を残されたこと、また、青年部員の真剣な運営の姿も記録として残されたこと、最高の夏まつりでした。広報委員長として夏まつり関わられたことは本当に良かったです。

来年は今年以上の夏まつりにパワーアップしましょう。本当にありがとうございました。

渉外委員長

五十川 将史



来場者、通行人、周辺住民の方々に夏まつりを楽しんでいただき、可児夏まつりを最高の思い出にしていただくためにも、安心・安全を提供し、ケガ・事故なく運営するという渉外委員会の目的を果たすことができました。これもひとえに商工会議

所会員の皆様、事務局の皆様、市役所、警察署、消防署、地元自治会、ボランティアの皆様、そして青年部の皆さん、委員会メンバー、関係していただいた皆様すべてのおかげと深く感謝申し上げます。

個人的には警備の確認などで会場まわりを自転車で何回も巡ることができたのが良い思い出になりました。



踊り委員長

大口 剛弘



夏まつりでは両日の盆踊り・総踊りと二日目のダンスステージ発表を担当させていただきました。盆踊り・総踊りは来場されたお客様のおかげで両日大変盛り上がり、ステージ上から多くの笑顔を見ることができとても嬉しかったです。

また、二日目のダンスステージも過去最高の参加チーム数となり、多くのチームに発表していただくことができました。運営上の反省点はありますが、多くの来場者から喜んでいただくことができ良かったです。

イベント委員長

小池 康仁



可児夏まつりに来場された皆さまに、夏休みの最高の思い出づくりをしていただく事を目的に、ふるさと川公園では、アスレチック・魚つかみ・とんかち広場・バラんまるグッズの販売・チャンバラ合戦イクサ、市役所駐車場では地元の働く車の展示イベント、2会場を廻ってバラんまるのシールを集めるシールラリーを実施いたしました。当日、日中の熱い時間帯にもかかわらず多くの皆さまに楽しんでいただき、多くの子供の達の笑顔が拝見できました。特に普段触ったり乗ったりできない建設重機や高所作業車に乗車体験していただき貴重な体験をしていただけたのではないのでしょうか。今回、地元企業様にご協力をしていただき実現ができました。来年以降も可児市の地元企業様に協力していただき可児夏まつりでしか体験できない企業体験型イベントを実施していけたらいいなと思います。

花火委員長

谷村 三四郎



「可児夏まつりの夜空を華やかに演出し、祭りを盛り上げる。」これが花火委員会、1番のやりがいだと思います。来場者の方に安心して、花火を観覧して頂けるよう自分なりにいろいろ考えて、いろんな方に助けて頂きながら、準備しました。

花火が上がった瞬間、本当に嬉しかったですし、20分が終わった時、何のトラブルもなく終わることができ、とてもホッとしました。

花火委員長をやらせて頂いて、本当に良かったです。

会場・環境委員長

平山 憲文



「可児夏まつり」の運営に携わりたくて青年部に入会しました。入会したばかりの委員長で不安もありましたが、皆さんに支えていただいていたなんとかやり抜くことが出来ました。ありがとうございました。初めての試みで手探りながらも、

櫓と本部P Aを足場業者に依頼したおかげで、会場全体のスムーズな設営撤収が出来ました。

春先から各委員長と打ち合わせを重ねて、会場設営から最終日翌日の撤収清掃作業まで、大きな事故もなく、市民の皆さまに楽しんでいただける会場づくりが出来たことが一番の成果だと思います。

たくさんの来場者にお越しいただき、とても楽しそうにしている姿を見ると、実行委員をやって本当に良かったと思います。

食委員長

古田 智裕



飲食店メンバーを中心にイベントの中で食に関するイベントを行いました。

魚焼きBBQ体験では、お子さんに魚をその場で焼いて食べてもらい、多くの方に喜んでもらいました。また、ご当地アイス販売では、

日本各地のご当地アイスを集めました。定番の味から意外な味のアイスを取り揃えました。普段なかなか出来ない内容でしたが、多くのメンバーで楽しく出来ました。



全国大会可児分科会部会長

亀谷 孝太

有限会社 亀谷電気商会

今年度の全国大会は、例年のように一つの単会で開催するのではなく、岐阜県連6単会が主管する大会となりました。分科会も同様に、それぞれの単会が地元の特徴を活かした分科会を開催することで全国の仲間にもその魅力を知ってもらいたい。そんな想いで準備を進めてまいりました。

可児の分科会は「伸びゆく大地」ギターパフォーマンストと題して、商工会議所青年部の歌である「伸びゆく大地」を、地元企業であるヤイリギター様にご協力いただき、歌詞はそのままにメロディのアレンジを自由にしていただくことで青年部への熱い想いをギターと歌で表現してもらうコンテストを開催しました。これは、「伸びゆく大地」は全国の部員が歌えること、青年部の多数がバンドブーム世代であり、歌やギターで青春時代を謳歌した方々が多いことなどをリサーチし、企画しました。会場はステージで存分に歌っていただけという日本トップレベルの地域劇場、可児市文化創造センターの主劇場です。また可児の特徴を見て、触れて、味わっていただけるよう物産展の開催、そしてコンテスト特別審査員に嘉門タツオ氏をお招きすることにしました。しかし、

準備をしただけでは全国から仲間は集まりません。全国大会PRキャラバンと題し、北海道から九州まで、延べ40名を超える可児の青年部員が各地で全国の仲間と交流し、可児分科会の魅力をしつかりと伝えて、ぜひ2月には可児に来ていただきたい!という想いを伝えてきました。結果70名を超える登録をいただくことができ、またコンテストには6組出場いただきました。出場でいただいた皆さんは普段から音楽活動をされている方たちばかりで、私たちの想像を超えたアレンジとパフォーマンスでたいへん盛り上がり、会場は熱気に包まれていました。当日は物産展と嘉門タツオ氏のコンサートを一般市民の方にもお楽しみいただきました。可児は、分科会開催中に岐阜メモリアルセンターで大懇親会の準備を同時に行っており、お互い限られた人数の中での運営となりましたが、青年部OBの先輩方にご協力いただき、大変心強く、一緒に活動できましたことを嬉しく思います。また、出店いただいた事業所の皆様、可児市の皆様、商工会議所の皆様をはじめ、多くの方に支えられてこの分科会を盛況のうちに開催することができました。ありがとうございました。



全国大会懇親副部会長

畑佐 卓

株式会社 大幸住宅

全国大会の前泊者懇親会と大懇親会を担当させていただきました。

これまで経験をしたことが無い人数の大懇親会の設営。5000名の人たちがどのように動くのか、何をしたら思い出に残る内容になるのか、食事や飲み物の量はどのくらいあればいいのか、そのほとんどが手探りの状態でありました。

しかし、さすが青年部には心強い仲間がいます。料理の段取りすべてを仕切ってくれた本松金三君、牛の丸焼きを主役にしたライブキッチンという素晴らしいパフォーマンスを見せてくれた中根知重君、これらを記憶に残るような映像にしてくれた山口峻君、圧倒的なマイクパフォーマンスを見せてくれた松田浩一君、単身日本酒の酒元と渡り合った市原征伸君そして準備から当日の運営まで協力してくれた頼もしい可児YEGのメンバーたちのお陰で、過去の全国大会と比較しても胸を張れるような内容の懇親会が実現できました。

自分一人では実現できないことが、人の協力を得ながら一つずつ形になって実現出来る。やっぱり大きな事業は楽しいです。

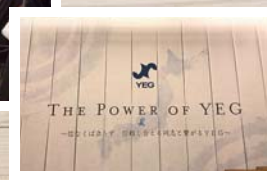
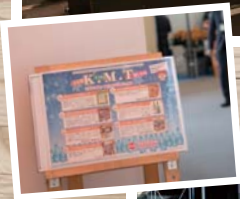
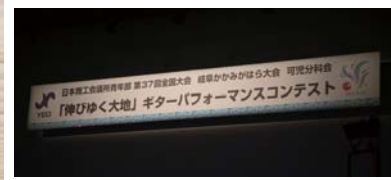


すてきな経験をさせていただきありがとうございました。



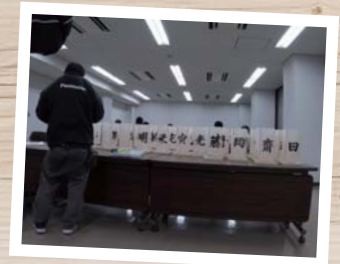


全国大会 岐阜かかみがはら 大会





全国大会までの道のり



全国大会岐阜
かがみがはら
大会実行委員

懇親部会長

澤野 泰輔

懇親副部会長

畑佐 卓

飲食関係委員長

本松 金三

イベント委員長

山口 峻

特別物産委員長

市原 征伸

会場委員長

貞本 尚洋

分科会部会長

亀谷 孝太

コンサート・コンテスト委員長

太田 真哉

出展委員長

高木 康宏

設営委員長

小池 康仁

各委員長の全国大会への思いや感想は、可児商工会議所青年部HP (<http://kani-yego.org>) にてご覧下さい



平成29年度 年間事業報告

- 4/3 定例役員会 可児市総合会館
- 6 岐阜県商工会議所青年部連合会第1回役員会 コバン各務原
- 8 高山商工会議所青年部創立30周年式典 ひだホテルプラザ
- 18 執行部会 可児市総合会館
- 20 全体例会 「可児商工会議所青年部通常総会」小菅OGMチェリークレーク
- 25 臨時役員会 可児市総合会館
- 5/2 定例役員会 可児市総合会館
- 11 東海ブロックYEG役員会 安保ホール《愛知県名古屋》
- 18 執行部会 可児市総合会館
- 21 全体例会 「部員交流会」五宝の滝《八百津町》
- 6/2 定例役員会 可児市総合会館
- 9 日本YEG役員会 出雲商工会館《島根県出雲市》
- 17 全国大会キャラバン 関東ブロック会長会議 ホテルペラヴィータ《群馬県沼田市》
- 19 執行部会 可児市総合会館
- 24 東海ブロックYEG役員会・会員総会・会長会議 高山市役所庁舎
- 29 岐阜県商工会議所青年部連合会第2回役員会 可児市総合会館
- 30 新入部員歓迎会 焼楽
- 7/3 定例役員会 可児市総合会館
- 14 全体例会 「可児夏まつり2017決起大会」 可児市総合会館
- 18 執行部会 可児市総合会館
- 20 各務原YEG例会参加 コバン各務原
- 22 日本YEG役員会 シティホテル美濃加茂
- 8/3 定例役員会 可児市総合会館
- 9 東海ブロックYEG役員会 岡崎ニューグランドホテル《愛知県岡崎市》
- ” 親睦交流会 大学共同利用機関法人自然科学研究機構
- 12~13 可児夏まつり2017 可児市役所東駐車場 ふるさと川公園
- 18 執行部会 可児市総合会館
- 20 パラマる参加イベント「F.C岐阜 可児市ホームタウンデー」長良川競技場
- 25 可児夏まつり2017慰労会 康生
- 26 岐阜県商工会議所青年部連合会第3回役員会
- 全国大会全体説明会 恵那商工会議所
- 9/4 定例役員会 可児市総合会館
- 5 東海ブロック大会津大会キャラバン交流会「チャンバラ合戦イクサ」 可児市総合会館
- 9 全国大会キャラバン
- 北海道ブロック湯之国登別大会 日本工学院北海道専門学校《北海道登別市》
- オープン例会 「青年部活動に参加しよう」平牧公民館
- 19 執行部会 可児市総合会館
- 20 岐阜県商工会議所青年部連合会第4回役員会 美濃加茂商工会館
- 27 東海ブロックOBゴルフ交流会 岐阜関カントリー倶楽部
- 28 全国大会キャラバン 岡山YEG例会参加 岡山プラザホテル《岡山県岡山市》
- 10/4 定例役員会 可児市総合会館
- 15 全国大会キャラバン 福岡県連合大会 サザンクス筑後《福岡県筑後市》
- 16 全体例会【全国大会実行委員会懇親会部会】
「全国大会決起大会」 可児市文化創造センター (ala) 映像シアター
- 18 執行部会 可児市総合会館
- 20 東海ブロックYEG役員会・会員総会・会長会議
津市センターパレスホール《三重県津市》
- 21 東海ブロック大会津大会 津市産業・スポーツセンター サオリーナ《三重県津市》
- 29 パラマる参加イベント「産業フェアin可児2017」可児市文化創造センター (ala)
- 11/1 定例役員会 可児総合会館分室
- 3 パラマる参加イベント「多治見まつり」多治見市駅前
- 4 全国大会キャラバン
- 九州ブロック大会出水えん舞出水市総合体育館《鹿児島県出水市》
- 17 執行部会 可児市総合会館
- 22 全体例会【総務委員会】「臨時総会」 可児市総合会館
- 24 岐阜県商工会議所青年部連合会第5回役員会 ひだホテルプラザ
- 25 全体例会【広報委員会】
「岐阜県商工会議所青年部連合会県連大会高山大会」
飛騨・世界生活文化センター
- 28 全国大会キャラバン 京都YEG例会参加 京都ホテルオークラ《京都府京都市》
- 12/2 日本YEG会長研修会議 出雲市民会館《島根県出雲市》
- 4 定例役員会 可児市総合会館
- 15 全体例会【総務委員会】「忘年会」 湯の華アイランド
- 18 執行部会 可児市総合会館
- 1/5 定例役員会 可児市総合会館
- 17 岐阜県商工会議所青年部連合会第6回役員会 関商工会議所
- 18 執行部会 可児市総合会館
- 30 全体例会【広報委員会】「講師例会」 可児市総合会館 可児かまど本店
- 31 東海ブロックYEG役員会 ラグナサイト名古屋《愛知県名古屋》
- 2/1 定例役員会 可児市総合会館
- 15~17 日本商工会議所青年部第37回全国大会岐阜かかみがはら大会 各務原市民会館
- 16 可児分科会「伸びゆく大地」ギターパフォーマンスコンテスト
「嘉門タツオ」コンサート 可児市文化創造センター (ala)
- 28 執行部会 可児市総合会館
- 3/2 定例役員会 可児市総合会館
- 10 岐阜県商工会議所青年部連合会新旧役員会
全国大会報告慰労会 東建塩河カントリー倶楽部
- 19 執行部会 可児市総合会館
- 21 全体例会【総務委員会】「卒業生を送る会」 美濃旬膳 おりべ亭
- 24 東海ブロックYEG会員総会 刈谷市産業振興センター《愛知県刈谷市》
- 31 機関誌「燃えるいのち」第24号発刊(1,700部)【広報委員会】
年間を通じて可児YEGホームページ更新【広報委員会】

新入部員紹介



湯浅 崇史
湯浅塗工



浦野 留美
よもぎ蒸しDE CAFÉ 華美人



若山 義史
㈱長坂不動産



小田川 めぐみ
小田川業務店



長瀬 篤
ViVik



田口 瞳
ラウンジNaNa



日比野 翔
三代目 FURUSATO



松岡 信希
㈱一心

卒業部員紹介



安江 健一郎
㈱安江電気工事



岩井 孝仁
㈱岩井加工所



星野 誠
富士ホイスサービス



可児商工会議所青年部

編集発行 可児商工会議所青年部

可児市広見1-5 TEL 0574-61-0011 FAX 0574-63-1856
URL <http://kani-yeg.org/> E-mail yeg@cci.kani.gifu.jp

発行日 平成30年3月31日
印刷所 有限会社 ヤマト印刷

青年部員募集中！！

可児商工会議所青年部 平成30年度スローガン

Re-Creation

～今を創ることから始まる未来～

Re-Creation とは、“再創造”と“楽しみ”という意味を込めた言葉です。業種・業界を超えた仲間たちと一緒に、楽しみながら大好きな可児の街を再創造していきませんか

青年部FAQ

- Q:どんな人がいるの？ A:45歳までの可児が大好きな若手経営者(後継者)です
- Q:普段どんな活動をしているの？ A:月に1回ペースで例会という事業を企画したり、可児夏まつりをはじめとした地元行事の企画・設営といった地域貢献のほか、様々な仲間と情報交換・人脈作りができる懇親の機会を設けています
- Q:ちゃんとしていけるか心配なんですけど・・・ A:最初のご自身のペースで参加しやすそうなものから参加をしてみてください。気さくで明るいメンバーたちが話しかけてきてくれますよ！



一緒に活動できることを楽しみにしています

お問い合わせは
可児商工会議所青年部事務局

TEL:0574-61-0011

<http://kani-yeg.org>

可児商工会議所青年部

検索



Young Entrepreneurs Group
可児商工会議所青年部